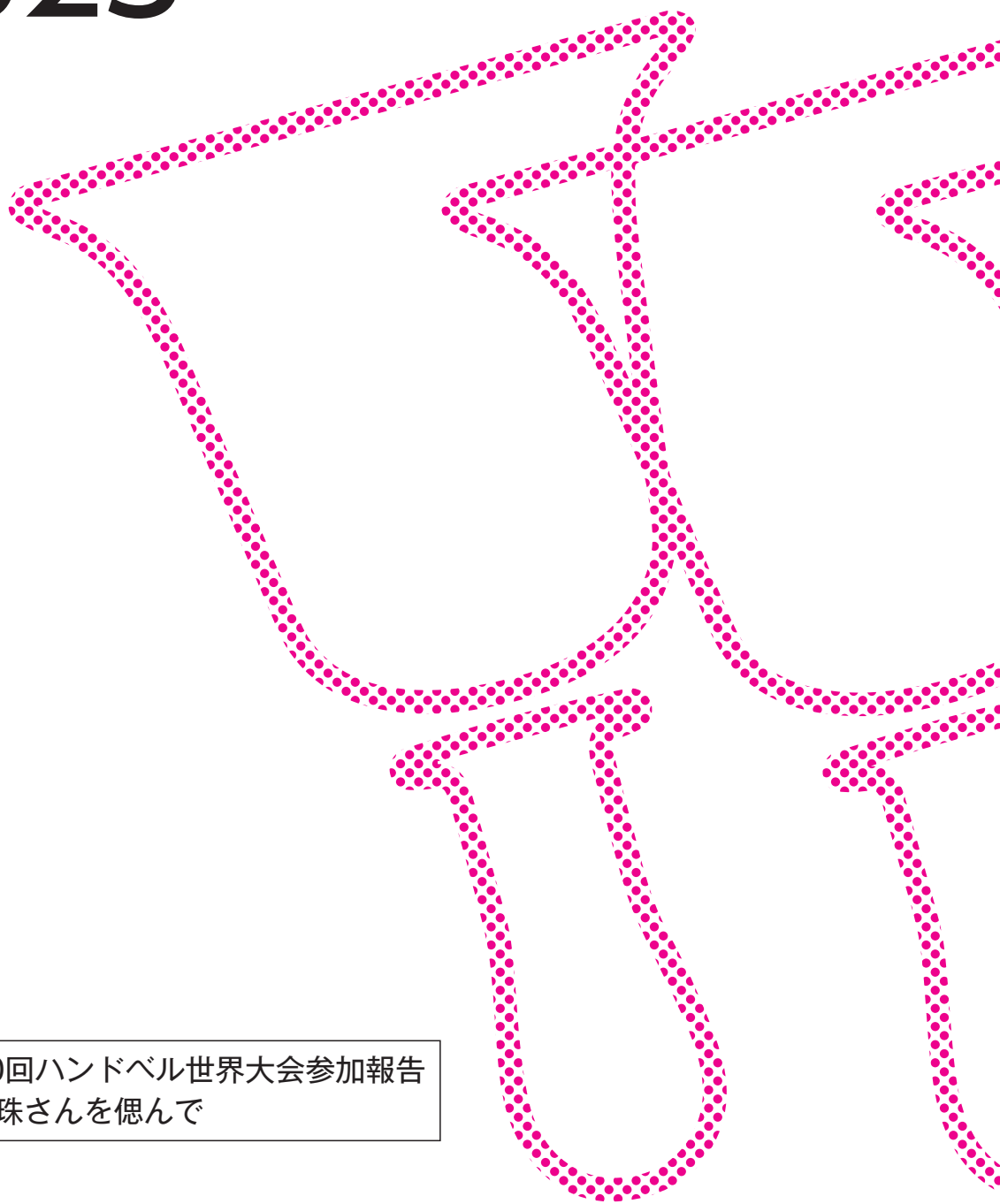


HANDBELL RINGERS of JAPAN 2023



- ☆ 第20回ハンドベル世界大会参加報告
- ☆ 申善珠さんを偲んで

一般社団法人

日本ハンドベル連盟会報

No.48

目 次

理事長挨拶	3
2022年度ご寄付一覧	5
第40回指導者講習会報告	6
第32回小編成ハンドベル講習会報告	8
第2回オンライン講習会報告	9
第46回全国ハンドベルフェスティバル／全国ユースフェスティバル報告	10
第20回ハンドベル世界大会参加報告	12
2022年度講師認定報告	15
2022年度支部活動報告	16
申善珠さんを偲んで	20
2022年度総会議事録	24
2023年度総会議事録	26
2023年度イベントカレンダー	27
2023年度入退会会員一覧	28
連盟の活動	32
ハンドベル寄贈および購入資金一部援助リスト	33
連盟のあゆみ	34

世界大会、1年後に迫る！



一般社団法人日本ハンドベル連盟
理事長 下田和男

私ごとで恐縮ですが、本年ハンドベルと出会うクワイアを立ち上げ指導を開始し40周年の節目を迎えました。

1983年連盟創立より遅れること7年、当時在職校であったキリスト教系の和泉短期大学で寄贈された2オクターブのベルを用い、讃美歌のメロディーを奏でたことが始まりでした。当時は我が国のハンドベルの歴史が浅く、言わば未知の世界への挑戦でしたが、音色に魅せられ試行錯誤を繰り返しながらも、その魅力を極めるべく精力的に取り組みました。

1年後の1984年、思いがけずアメリカ、アルカータ市フンボルト大学で開催される記念すべき第1回世界大会に参加する機会が与えられました。急遽、アメリカ行きが決まったことで急ぎベルを3オクターブ加え、5オクターブ編成としました。しかし、経験もなく、実績もなく、知名度もない学生チームでしたので大会への参加は、怖いもの知らずの行動でした。しかも準備の時間は短く譜読み程度で内容の伴わない不安な状態でした。案の定、日本から参加した他のチームの方々からは、白い目で見られ、マスマリングの練習で指揮者の方々に迷惑をかけるなどいたたまれない状況でした。しかし、この大会に参加する機会を与えて下さり、全面的に応援下さった当時の申善珠事務局長の強力な後押しと励ましもあって、コンサートに出演するなど予定されたスケジュールを全てこなすことができ、その成果は想像以上のものだったのです。帰国後は、不安は自信に変わり、学生の現状認識と自覚とともにベルに関わる全てのことに積極的に取り組む姿勢も育まれ、チームワークも強力なものとなりました。私自身も目から鱗が落ちる体験でした。短期大学は学生の在学期間が短いのでクワイアの育成は難しいものがありましたが、その基盤も一気に確立し、挑戦し続ける姿勢と不屈の精神は代々のチームに受け継がれ、演奏活動の裾野

も年々広がって行くこととなります。

世界大会は英語ではインターナショナル・ハンドベル・シンポジウムと呼ばれます。アメリカと日本のハンドベル関係者によって発案され、国境を超えたハンドベルの一大交流イベントです。1984年にアメリカで始まり2年後の1986年には日本で開催されました。その後は、国際ハンドベル委員会の加盟国が1年おきに持ち回りで主催するようになりました。現在アメリカ、日本、イギリス、韓国、カナダ、オーストラリア、香港、シンガポールの国・地域が加盟し、昨年アメリカで開催された第20回世界大会で4周目がスタートしました。日本では1986年御殿場、1998年幕張、2010年大阪と過去3回主催しています。4回目となる第21回世界大会は、2024年8月12日～17日まで静岡県浜松市のアクトシティ浜松にて開催されます。なお、浜松では世界大会40周年の節目の大会となります。

大会の主な内容は、各国代表指揮者による参加者全員が心を合わせて奏でるマスリングを始めとして、ベルやチャイムの演奏法や各国の文化を学ぶワークショップ、さらに世界のリンガーとの交流の時間など世界大会ならではの貴重な体験の場となります。今までに開催された国内外の大会に参加し、先にご紹介した事例のように急成長したチームや指導者を数多く見聞きしてきました。世界大会は、語りつくせない大きな力を秘めたしかも魅力のある大会なのです。会員の皆様にとって14年ぶりに日本で参加できる願ってもないチャンスです。この機会を逸することなく今から関心を持って参加を前向きに考えていただければ幸いに思います。長きに渡りコロナ禍で活動の停滞や休止を余儀なくされたチームにとってもこの大会は、そこから抜け出すチャンスです。連盟にとってもコロナ前の活気を取り戻し、会員のみならず一般に向けてもハンドベルの魅力を伝え、普及、発展につなげる最大の機会ととらえています。会員の皆様と共に1年後に迫った大会の成功を祈り、主催国としての責任を果たすべく盛り上げてまいりたいと存じます。2023年度もスタートいたしました今年度もハンドベルを愛する皆様のご理解と一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

2022年度 ご寄付一覧

以下の皆様からお気持ちをお寄せいただきました。
感謝申し上げます。

2022年4月1日から2023年3月31日までの寄付総額

一般寄付金 計 **410,000円** (50件)

ベル基金 計 **63,000円** (11件)

■一般寄付金

クリノン・ハンドベル・クワイア 能満寺ハンドベルエコーベルフラワーズ
徳善 義昌 An Bells
鈴木 幸子 安藤 節子
森 道興 Handbell Company一音
篠 常明 しまのねリンガーズ
Bell Flower 西東京ハンドベルの会
山崎 三枝子 中尾 幹
香村 俊子 森 朋子
ハンドベルクワイアLargo 梅木 仁司
芦田 京子 安住 早苗
杉山 仁美 池田 公子
中山 敦 Spring Sprite
五十嵐 しのぶ 土屋 多紀
荒川 恵美子 吉田 和代
森 道興 荒川 恵美子
多田羅 智穂子 森 道興
鎌井 泰 日本キリスト教団 大分教会
渡邊 貞介 クローバーベルフレンズ
古屋 千枝子 森岡 昌子
津野田 千恵 森岡 高司
アイリス クワイア Belle L'allure
小林 わか枝 柳沢 昌美
Erba 他、匿名
Ringing Angels
Handbell Ensemble YD
Ding Dong Ringers

■ベル基金

グレイス・ハンドベル・クワイア
クリノン・ハンドベル・クワイア
香村 俊子
芦田 京子
ノイ
渡邊 貞介
津野田 千恵
小林 わか枝
西東京ハンドベルの会
森岡 昌子
柳沢 昌美

(順不同、敬称略)

第40回ハンドベル指導者講習会

実行委員 吉田 年一

2022年6月25日（土）と26日（日）の2日間、3年ぶりに指導者講習会が開催されました。感染状況も予断を許さない中、どれくらいの受講者がいるか心配されましたが、蓋を開けたら50名以上の方々に参加いただき、久しぶりに賑やかな対面の場となりました。

コロナ禍で再開されたこの指導者講習会で特筆すべきは、会場を利便性の高い都心の「東京国際フォーラム」に移し、通い・宿泊を自由としたことでした。久々に顔を合わせたハンドベル仲間と寝食を共にできない残念さは聞かれたものの、東京駅から近く、講習室間の移動もスムーズな新会場は大変好評でした。



開講クラスと受講者数は以下の通りです。

「基礎クラス」 講師：今田政成 16名

「応用クラス」 講師：荒井弘高 8名

「リングングクラス」 講師：吉田年一、小澤淳一 12名

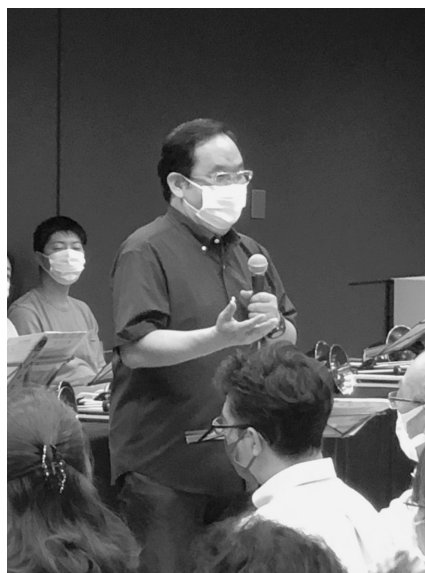
「認定講師クラス」 講師：大塚安宏 18名 計54名



他、選択クラス：下田和男先生（ハンドチャイム）、鈴木幸子先生（楽典）、
芦田京子先生（編曲法）、真辺常雄先生（ベルケア）

受講者アンケートからは、以下のように喜びの声が多く寄せられました。

- ・今まで観る聴く側だったのですが初めて自分でベルを打てて、とても楽しかったです。実習時間が充実していると感じました。また、選択の講座も大変興味深く、面白かったです。
- ・大変有意義な勉強の時間となりました。今回取れなかった選択クラスも、次の機会に是非受けたいと思いました。
- ・交通の便もよく、次回も国際フォーラムを希望したい。
- ・駅から近くてありがたいです。部屋の移動もスムーズにでき、使いやすかったです。
- ・コロナ禍でこのような講習の機会を本当にありがとうございました。活動をお休みにしていたため、再開することに不安な気持ちがありましたが、皆様から前向きな活力を頂ける時間でした。ハンドベルはZoomなどには限界があり、実際に対面でやることの意味、大事さを改めて実感しました。



第32回小編成ハンドベル講習会

実行委員 鈴木 幸子

桜の開花便りが聞かれる頃、六本木駅から会場となる東洋英和女学院中高部に向かう道でのお花見が楽しみだったのですが、今年は暖かい日が続き、満開を少し過ぎている様でした。

コロナ禍の為、講習会も中止にせざるをえなくて残念な年が続いていましたが、前年に引き続き今年も対面での小編成講習会が以下の通り開かれました。

2023年3月21日（火・祝）

9時30分から、開会・オリエンテーションによって始まりました。

9時45分 アシスタントの案内により、各クラスに移動。

「入門クラス」 講師：小澤淳一 7名

「基礎クラス」 講師：今田政成 14名

「応用2オクターブクラス」 講師：小林わか枝 5名

「応用3オクターブクラス」 講師：鈴木幸子 10名

今回は少人数でしたので、基礎的な演奏技術、曲作りの基本を丁寧に行えたと思います。午前の講習は2時間半。午後は2時間45分。合計5時間15分間。1日の講習会でも、充分学ぶことが出来たと喜びの声を頂きました。

昼食の時間を「自由な交わりの時間」とし、他の受講生の方や、講師の先生との懇談の時となりました。

「閉会の集い」は、前年に引き続き、クラスごとの演奏披露をしました。特別に発表の為に曲を作るのではなく、その日練習した曲の中から、受講生の希望曲を多数決で決める等、楽しめたと思います。演奏した曲は以下の通りです。

「入門クラス」小さな祈り 「基礎クラス」 The Can Can

「応用2クラス」 A Little Swing 「応用3クラス」 Shining Promenade

数ヶ月に及ぶ事務局スタッフの皆様による周到な準備のお陰をもちまして、無事終了出来ました事に心より感謝申し上げます。

また講習会場として毎回使用させて下さいました、東洋英和女学院、そしてベルをお貸し下さいました方々に感謝申し上げます。

当日のアンケートにお書き下さいました事柄に励まされ、また課題に対し今後に向けて努力して参りたいと思います。



第2回ハンドベル・オンライン講習会

実行委員 荒井 弘高

2022年度においてもコロナ禍で夏期講習会が開けない中、HRJでは、昨年に引き続きZoomによる第2回オンライン講習会を下記の通り実施しました。アンケートでも、受講生の皆様の(回答率62%)90%以上の方々より「とても良かった/良かった」とのご回答をいただき、大きな成果を挙げた講習会となりました。2023年度以降も機を見て開催する予定です。

◆講義内容

8月20日(土)

【A-1/A-2】コンセプトから完成まで

Jason Krug (HMA)

【A-3】アンサンブルの極意

小田部 万里子

【A-4】ユースリンガーを育てる

Ali O'Connell (HSA) ※中止

8月21日(日)

【B-1】ハンドベル演奏の録音技術

Bob Avant (HMA)

【B-2】楽譜から読み取るエッセンス

岡田 泰子

【B-3】マレット奏法の魅力と演奏法

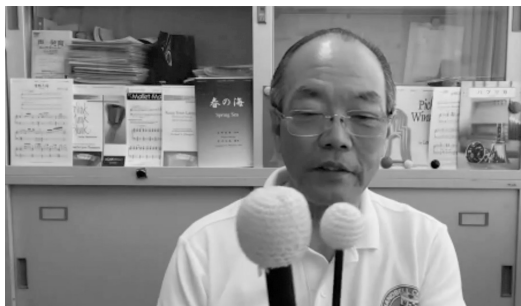
荒井 弘高

【B-4】スコットランドのハンドベルの歴史

Malcolm Wilson (HRGB)

◆受講者の感想(一部)

- ・講習会が開催できない中、リンガーの皆様のお顔は見えなくとも同じ時間を共有することができ、嬉しく楽しい時間となりました。普段の自分の指導の確認、新たな発見もあり、私にとってはとても充実したセミナーでした。
- ・今回のオンライン講習会、とても良かったです!本当に、充実した学びの機会を与えていただき、ありがとうございました。
- ・対面であれば参加できなかっただけでなく、オンラインにより、海外の指導者の方々の講義にもいくつも参加することで大変参考になりました。
- ・オンラインでは、音質がどこまで繊細に伝わるかなど制限もありますが、海外の講師の講習が家にいながらにして受講できるのは、すごいメリットだと思います!



第46回全国ハンドベルフェスティバル 全国ユースフェスティバル 実施報告

第46回全国ハンドベルフェスティバル 実行委員 小澤 淳一

2022年11月19日（土）から20日（日）の2日間、青山学院講堂を会場に第46回全国フェスティバルが開催されました。

ユースフェスティバル以外の参加チームは15団体（19日10団体、20日5団体）でした。今回は初参加のチームはありませんでした。

今回は、久しぶりの有観客で開催を試みました。未だに感染者が出続けている中ですが、出演者もご来場いただいた方々も感染に気をつけながら、様々な配慮をしてくださいました。

配信を通してのフェスティバルのあり方も確かに、気軽に参加できるという利点はあるつつも、演奏者と観客が同じ空間で、楽器が発する空気の振動と音圧を感じながら同じ時を過ごす豊かな時を大切にしたいと感じる2日間でした。

日本ハンドベル連盟のプログラムも2024年の世界大会に向けていろいろと実施されます。無理のないようにしつつも、一堂に会してハンドベルの音楽を楽しむときとなるように祈ってやみません。

全国ユースフェスティバル 実行委員 荒井 弘高

第46回全国フェスティバル開会中の11月20日、新しい試みであります全国ユースフェスティバルが、12団体参加のもと（ムービー参加3団体、キャンセル1団体）盛大に開催されました。

当日は荒井実行委員の開会の言葉に続き、各校代表者によるオープニングベルにより演奏会が開始されました。同時に2021年同様ライブ配信

も行われ、コロナ禍においての条件付き有観客開催のために会場にいらっしやれなかった皆様にもお楽しみいただけたのではないかと思います。なお、皆様からはコロナ禍が落ち着いた以降もライブ配信がなされることを望む声も増えてきているのも事実であり、継続すべきか検討が必要と思われます。

また、以前より皆様よりご要望がありました講評に関して理事会において検討した結果、新しい試みとして今回実施することとし、鈴木幸子、大塚安宏、荒井弘高の3名の先生方に講評者として講評作成をお願いいたしました。演奏終了後には大塚、鈴木両先生に全体講評もあり、その後荒井実行委員の閉会の言葉、理事によるクロージングベルにて閉会といたしました。なお講評用紙は閉会后各学校に手渡されました。

講評に関しましては、後日参加校より「先生方のさまざまな観点からご意見をいただき感謝です」「生徒たちも先生方から講評をいただけたことをとても喜んでいました」「さっそく曲作りに取り入れていきます」などの前向きな意見が寄せられました。



第20回ハンドベル世界大会参加報告

〈アメリカ・ナッシュビル〉

アメリカ世界大会とカレッジ・リングインに参加して

理事・マスリング指揮者 吉田 年一

2022年の夏、第20回ハンドベル世界大会（於テネシー州ナッシュビル）とその前に行われたカレッジ・リングインに指揮者として参加しました。

カレッジ・リングインは日米2名の指揮者（Dr. William Paynと吉田）のもと3日間の練習でコンサートを行うというプログラムです。アメリカ、カナダ、イギリス、香港、ブラジル、アイスランドなどの国々の若者たち約40名が3チームに分かれて練習を重ね、最終日（＝世界大会の初日）に、開会式にてコンサート形式で演奏を披露しました。曲は私がグレンミラークラシックスなど6曲、ペイン氏がカルメンファンタジーなど5曲の計11曲と、とても短い期間の中で素晴らしいコンサートが行えたことに若い力と情熱を感じました。



引き続いて行われた世界大会は、当初、中部学院大学の岡田泰子先生がマスリングの日本代表指揮者に選ばれ「島唄」を指揮する予定でしたが、長引くコロナ禍により日本からの参加者がゼロになりご自身も参加を辞退されたため、私がそのまま「島唄」を指揮することとなりました。

マスリングは8か国・地域（アメリカ、日本、イギリス、韓国、カナダ、オーストラリア、香港、シンガポール）から選出された9名（開催国のアメリカは2名）の指揮者により、8月2日～5日まで1日約20～25分ずつのセッションを費やし、最

終日（6日）のファイナルコンサートに向けて練習を行いました。参加者は約370名でアイスランド、ハンガリー、ブラジルからの参加もあり、別日に行われたソロコンサートでは見事な演奏を披露されていました。



ファイナルコンサート当日はインターネットによるライブ配信も行われ、日本では早朝5時という早い時間ではありましたが、多くの方々に視聴していただきました。当初複数のカメラで配信を行う予定でしたが、撮影スタッフがトラブルにより到着できず、急遽調達した1台の固定カメラでの配信になりましたが、各国の指揮者が作り上げる音楽と、コロナ禍に負けず参加した各国リンガーとが一体となったコンサートは、とても素晴らしいものになったと思います。

2024年は浜松で世界大会が予定されています。今回のアメリカでの経験を活かし、より良い大会にできればと思っています。



カレッジ・リングインYouTube動画



マスリングングYouTube動画

第20回ハンドベル世界大会参加報告

事務局

2022年8月1日～6日、アメリカ・ナッシュビルで第20回ハンドベル世界大会が開催されました。2020年に予定されていた第19回世界大会が、主催国・香港での政情不安と続く世界的な感染拡大により中止を余儀なくされたため、実に4年ぶりとなりました。しかしながら長らくコロナ禍は一向に収束の気配を見せず、当初は少なくとも100名以上の参加が見込まれていた日本は、結局1グループの参加もありませんでした。

それでもアメリカを中心に各国から400名近い参加者が集まったこの大会は、世界の

友人とリアルに交流できた喜びと、何百人ものリンガーがふたたび集い演奏ができることの感動に満ち溢れたものでした。1984年の第1回から隔年で実施され、年を追うごとに参加人数も規模も拡大し続け、ある意味目的やニーズが多様化した感のある世界大会が、皮肉にもコロナ禍を経てあらためてハンドベルを通じた交わりの大切さを実感する場となり、4巡目にしてエポックメイキングな大会であったと感じています。

日本からはわずか2名の参加でしたが、それぞれ大役を担い、少なからず日本のプレゼンス向上に貢献できたと自負しています。

世界大会直前のプログラム「カレッジ・リングイン」にウィリアム・ペイン先生と共に指揮者として招聘された吉田年一先生には、急きょ代役として世界大会のマスリングも指揮していただきました。世界の若いリンガーを率いた「カレッジ・リングイン」、そして世界大会のマスリングでは、どちらも素晴らしいパフォーマンスを披露し会場の一体感を引き出しました。

また事務局からは武者智子が完全に個人として参加し、開会式・閉会式の旗手を務めると共に、次回主催国として2024年日本大会への興味を喚起しました。

ここ最近、国内外の多くの方々から聞かれる「浜松に行きたい！」の声を励みに、連盟では来年に向けての準備を進めています。浜松でお会いしましょう！



2022年度認定講師報告

担当理事 小澤 淳一

日本全国で、日本ハンドベル連盟の認定講師の皆様が活躍して下さること、うれしく思います。今年度も講師認定2級を53人おり、更新した方が、11人。新規に2級を取得した方が2人いらっしゃいました。

また、講師認定1級取得者は11人いらっしゃいます。1級取得者は、日本ハンドベル連盟主催の各種講習会で、講師などをお願いすることがあります。また、2024年に開催される世界大会のマスリングの指揮者にエントリーする機会を与えられています。2級取得者の方々も、ぜひ1級にチャレンジされてはいかがでしょうか。

ここ3年間のコロナ禍の中で講師認定に関して、認定を受けるための基準を変更せざるを得ませんでした。2級更新に関しては、2017～19年の3年間に「2回以上受講」から2018～2022年の5年間に「計1回以上受講」に変更いたしました。また、2018～2022年の5年間、指導者講習会または夏期講習会を1回受講（クラスは指導者か認定講師）し、かつ所定の「課題」を提出から、課題提出のみに変更いたしました。

新型コロナの感染は未だに収まることはありませんが、現状の中でできることに注視しつつ、講習会などを開催し、認定講師の方々の研鑽の場を提供することができればと考えております。ハンドベルの普及のために、ぜひ、認定講師制度を活用していただき、自信を持って指導することができるようになり、ますますのご活躍を期待しています。

【2023年度認定者】（有効期間：2023年4月1日～2027年3月31日）

認定講師2級（継続更新） 11名

印田 恵理（東京都）	篠原 民子（埼玉県）	長屋 眞由美（東京都）
宮口 直子（北海道）	配野 純子（東京都）	篠 常明（千葉県）
安住 早苗（鳥取県）	土屋 はるみ（神奈川県）	田村 亮子（長野県）
角田 輝美（岐阜県）	松澤 令子（東京都）	

認定講師2級（新規認定） 2名

岡野 裕加里（栃木県）	山崎 聖子（神奈川県）
-------------	-------------

2022年度 支部活動報告

北海道支部

支部長 藤田 晃

【会員数】 25団体、個人会員 2名

北海道支部では3年ぶりに、第36回北海道ハンドベルフェスティバルを、11月28日から12月4日まで動画配信という形で実施しました。参加団体は7団体でしたが、それぞれの団体が色々と持ち味を発揮し、楽しく視聴することができました。

事前の準備は大変でしたが、総会後に開設した支部ラインや役員のグループラインで、様々な情報を共有しながら準備できました。

また、2月19日【日】には札幌国際大学において、【ハンドベルを楽しむ会】という会員交流と親睦を目的とした事業を、対面で開催しました。

この3年近く、コロナ禍でさまざまな支部事業が開催できませんでしたので、参加者40名程度ではありましたが、久しぶりの交流に感激し、楽しく1日を過ごすことができました。

グループを二組編成し、林昌子先生と私とで二曲ずつ練習し、最後に発表会をしました。

参加希望者を昨年末に募集し、事前に演奏曲の楽譜の配布を行い、担当ベルを確認し準備できたことで、当日はスムーズに練習に集中することができました。札幌国際大学ハンドベル・クワイアの多大なバックアップをいただき、会場借用や運営サポートをいただきましたこと、感謝しています。

今年度はコロナ感染の影響や、役員の大幅な入れ替えのため7月に総会を開催しました。活動開始が遅れ、計画した事業内容も縮小せざるを得ませんでした。ライン始めデジタルコンテンツの利用で、様々な支部の情報を会員に届けることができ、リアルタイムで速攻の対応ができました。また、支部経費の整理もでき安堵したところですが、数年先を見越した事業の開催や役員の担い手探しという課題もあります。今後の支部活動の円滑をさらに図るべく、ベルの魅力を道内に発信できればと願っています。

東北支部

支部長 松村 万里子

【会員数】 14団体、個人会員10名

東北支部ハンドベル・フェスティバル40周年記念事業に向けて

昨年、一昨年に続き国内はもとより世界中で、新型コロナウイルスの感染拡大が3年となりました。東北支部の各団体も昨年末からようやく日常生活や演奏活動等再開の兆しが少し見え、不安ながらも日頃の練習の成果を発表し始めました。

東北支部では、2019年に創立40周年を迎え、2020年度の東北フェスティバルでお祝いをする予定でした。新型コロナウイルス感染拡大防止のためにフェスティバルを3年連続延期となりましたが、今年度7月2日（日）山形テルサで開催を再開いたします。お互いのチームが少しでも前進し、響きあうことの大切さ、演奏する喜

びをともに感じたいと思います。

東北支部40周年を記念事業として、第38回東北支部ハンドベル・フェスティバル山形においてマスリングを行うため、岡本和子様へ委嘱し編曲していただいた「わらべうたメドレー」が完成し、お披露目いたします。一般公開の予定です。

大変遅くなりましたが、山形ベルの会 鈴木壽子先生の後を受け東北支部の3代目の支部長に就任いたしました松村万里子です。どうぞよろしく願いいたします。

いつもハンドベルを愛し東北での普及を心から願っていた申善珠様の気持ちを大切に、多くの方との出会いと美しい音色を積極的に発信し、ハンドベル音楽があふれる年となりますよう、連盟の皆様、東北支部の皆様とともに励んでまいりたいと思います。

中部支部

支部長 杉山 仁美

【会員数】 37団体、個人会員 4名

中部支部は2022年度創立30周年を迎えました。たくさんの方々のご協力とお祈りがあることを覚え、感謝いたします。

4月に第1回楽奏の会を開催しました。2020年以降コロナで2度延期になり、待望の集いでした。中部支部会員どなたでもご参加いただけ、共にベルを奏でる楽奏の会。第1回は「教会で宗教曲を奏でよう」をテーマとし、21名の参加者があり、牧師のお祈りから始まり、奏でるだけでなく、教会音楽にふさわしいお話も伺い、リンガー同士の交流の時を持つことができました。

6月に3年ぶりに中部ハンドベルフェスティバルを開催し、30周年記念をお祝いしました。22団体（出演者約450名）の出演者と300名を超える出演関係者が集いました。人数制限をいたしましたが、子どもから大人が一同に奏でるマスリングを行い、会場は讃美の音色に包まれ、コロナでの長い沈黙を破る夢のような光景でした。また、初代支部長坂野延子先生の追悼の時を持ち、先生の想いが受け継がれていくことを感じるフェスティバルとなりました。できる限りのコロナ対策をし、皆様のご協力を得、たくさんのお祈りのもと無事に終演いたしました。なお、例年フェスティバル後開催していた代表者会は、後日Zoomにて開催いたしました。

11月に30周年記念誌を発行しました。コロナ禍で対面での活動が難しかったこの3年間をかけ作成し、今までのあゆみと共に、会員の皆様からのメッセージもたくさん詰まった1冊となりました。各支部にも贈呈させていただきましたので、またご感想をお聞かせいただければ幸いです。

3月に第2回オンライン講座を行いました。今回は学生リンガーの協力を得、フォー・イン・ハンドのコツを教えてくださいました。参加者の学び合う意欲の高さとチームを超えた結束力を感じました。

また、「ニューズレター WA っ」を年2回発行し、秋には様々なコンサートの情報が掲載され、それぞれの活動再開を感じました。

下田理事長、連盟関係者を始め、たくさんの方々のお祈りとお支えがあることを覚え、次年度も支部会員の皆様と協力して活動を続けてまいります。

関西支部

支部長 三宅 理磨

【会員数】 45団体、個人会員20名

(1) Joyfully Ring! + 関西ハンドベルフェスティバル

2022年9月18日（日）奈良県王寺町やわらぎ会館にて開催いたしました。

2020年・2021年と2年にわたり、関西支部の活動を止め、支部の皆様にはご心配をおかけしましたが、多くの方々のご支援によりようやくこぎつけることができました。

午前中の「Joyfully Ring!」に集った52名のリンガーは、千守敦子先生（同志社大学ハンドベル・クワイア）のご指導の下、「宝島」と「Dancing Queen」に挑戦し、会のテーマ通り喜びにあふれた演奏と久々の交流を楽しみました。

午後の関西フェスティバルでは、Joyfullyチームの他に7チームの演奏が行われました。

(2) 支部総会

2022年9月18日（日）奈良県王寺町やわらぎ会館において、Joyfully Ring! 後に開催いたしました。出席者17名・委任状37通によって総会を成立しました。

2021年度総会は、コロナ禍のため書面決議としたため、活動報告・会計報告については既に了承をいただいていたのですが、今回の総会では、延期審議事項の役員改選についての審議を行いました。

長年、ご尽力いただいた土井典子さんが退任され、新たに高島幸子さんをお迎えすることとなりました。

(3) 役員会

役員会では、「関西フェスティバル」や「Joyfully Ring!」の企画・事務作業、ニュースレターの発行準備などを行いましたが、コロナ禍のため対面会議は1回にとどまりました。支部の活動紹介としてニュースレター（4月・10月）を発行しました。

中国四国支部

支部長 寺西 卓

【会員数】 13団体、個人会員12名

2022広島平和祈念・中国四国支部ハンドベルフェスティバルを午前10時半より開演しました。場所は毎年行っている原爆ドーム南側噴水横です。午前11時35分終了しました。

参加はヒロシマハンドベルリンガーズとめぐみ幼稚園エンゼルリンガーズとめぐみリンガーズと支部役員でした。

最初に支部長の開会の言葉、そしてラリー演奏、最後は短縮版「世界の命＝広島」の心を支部長の指揮で行い終えました。

コロナの渦は、まだまだ収まりそうではありませんが、来年は室内で実施でき

るかなと願っています。



九州支部

支部長 伊藤 和子

【会員数】29団体、個人会員10名

九州支部もおかげさまで元気に活動させて頂いております。

まず始めに昨年末に召天されました申善珠様のお働きに感謝申し上げます。

そして九州支部の前支部長の安楽晃先生も召天されました。先生にも大変お世話になりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

さて2022年度の活動報告です。

2022年3月21日（月・祝）に2021年度の九州ハンドベルフェスティバルを福岡で開催いたしました。その半年後に2022年度の九州ハンドベルフェスティバルを熊本の植木文化ホールで10月10日（月・祝）に開催することができました。半年間しかない中で実行委員の方々も参加団体も準備をして下さり、16団体の参加がありました。マスキングも2曲「Can You Feel The Love Tonight？」を常定知基先生の指揮、「Prayer」を伊藤和子の指揮で行うことができました。常定先生を中心に実行委員の方々の準備のもとコロナ感染禍の中にあっても無事に終了することが出来本当に感謝でした。

しかし九州の指導者やリンガー達との学びの勉強会の計画は残念ながらコロナで断念致しました。

私共4名の役員は2021年度より九州支部に関わらせて頂き、いろいろな考え方をもちつつ支部の運営を進めております。今年に入りコロナの状況も終息の見通しが付き九州支部の役員もようやく対面で役員会を長崎市内で持つことができそうです。

今年度は心新たに計画を立て進んでまいりたいと思っております。

又今年度の九州ハンドベルフェスティバルは長崎市内のブリックホール国際会議場にて9月16日（土）開催予定となっております。

今年こそはマスクも取れてすがすがしい1年となりますように心を込めて祈ります。

日本ハンドベル連盟元事務局長 申善珠さんを偲んで

日本ハンドベル連盟元事務局長

森 優



1976年の日本ハンドベル連盟創立以来、副事務局長、事務局長を長く務められた申善珠さんが亡くなりました。数年来、体調の不良があり、転倒されたり、自動車との接触事故があったり、入院生活も度々でしたが、持ち前の積極的な姿勢から、その度に乗り越えてこられました。そうして、2017年の日本ハンドベル連盟創立40周年記念アジア・ハンドベル大会の実行を、ご自分の最後の仕事と目され、見事に成功させてくださいました。2018年は、その残務整理もあり、また、ご自分の事務局長としての仕事も整理されていきましたが、辞意を表明され、ついに退任されました。

本当に、長年にわたっての連盟活動の要となって活躍して下さったことを、心から感謝申し上げたいと思います。

申さんは、韓国出身、ご主人は、東京商科大学（現一橋大学）を卒業、韓国の大統領、朴正熙政権（パクチョンヒ、1963-1979）の下で、日本駐在の高官として活躍されましたが、朴大統領の暗殺を受け、政治を離れ、家族は日本で暮らし続けることになりました。息子二人、娘一人を儲け、インターナショナルスクールに通わせ、卒業後は、息子達はアメリカの大学に学び、銀行や企業で活躍されています。娘さんは上智大学を卒業後アメリカに渡り、ジャーナリストとして活躍されています。申さんは、韓国のルーテル教会のメンバーでしたから、キリスト教出版社の株式会社聖文舎の森社長と知り合い、ちょうど、日本にハンドベルを普及させようという動きに加わることになりました。1976年の連盟設立の数年前からです。その後、ご主人を亡くされましたが、専心、ハンドベルの普及活動に奮闘されました。

はじめ副事務局長、1991年から事務局長として、その敏腕をふるわれました。ハンドベル連盟の急速な発展の中で、申さんの示した力量の発揮のことをいろいろ紹介したいのですが、紙面が足りません。

1984年に始まった世界大会、海外で行なわれるときは、申さんがすべての大会で、前もって現地に赴き、ホテルや会場までの交通などを視察して、日本からの参加者が円滑に移動できるように図ったのです。会期中は、森優（はじめ事務局長、後、理事、監事）が、事務所に詰めていて、参加者に病気や事故があると、連絡を受けて、家族と相談することにしていました。しかし、第16回目のカナダにおける世界大会まで、一度も事故はなく、また、風邪など以外の病院にかかるほどの日本からの参加者の病気もありませんでした。

これは、海外での大きな大会では異例なことではないでしょうか。申さんの万全な準備、手配はもちろんのこと、大会中に、参加者ひとりひとりに気を配り、目を留めていく、その愛の大きさに、包容力に感嘆しています。申さんが、連盟のために果たした大事なことは、後継者

の養成でした。講習会、演奏会、フェスティバルなど、連盟の行事をすすめる若いスタッフ（もう若くなくなった人もいますが）が大勢です。申さんが、療養に努めても大丈夫だという連盟本部が、いま、できあがっています。申さん、本当にありがとうございました。

申さんは、連盟の当初から事務局のすべての仕事の責任を取り、3代の理事長に仕えました。

初代理事長	池宮 英才先生	東京女子大学教授、短期大学部々長	1976-1983
第2代理事長	伊藤 朗先生	青山学院初等部々長	1983-2008
第3代理事長	日野原重明先生	聖ルカ国際病院理事長	2008-2017
第4代理事長	下田 和男先生	日本ハンドベル連盟副理事長	2017-

すべての理事長から信頼されて、申さんの能力、人柄、献身の心、3人の理事長は、すっかり安心しきっておられました。日野原先生は、様々な分野で活動されていたので、下田先生が副理事長として補佐されました。日野原先生の体調不良による退任と同時に、申さんもやはり体をこわし、2018年に退任しました。少子化による学校のハンドベル部の休部等も起こり、ついで、コロナ禍による集まりの困難など、下田先生が奮闘して切り抜けておられるのを、申さんは療養施設で聞きながら、お手伝いできないことを残念がっていました。

申さんは、2018年以来、体調が悪化し、東京・杉並の老人施設で療養していましたが、2022年11月27日、亡くられました。連盟の仕事に就かれたのは、まだ30代でしたが、80歳の入口にありました。コロナ禍の続く中で、家族でさえもお見舞いが許されない状況でのことでした。長年の仕事仲間であり、親しい友人であった私も、お見舞いに行く機会をこの3年失っていました。さらに、私自身、体調を崩し、身体を失っておりますので、申さんと特に親しく、申さんへのお見舞い、訪問を、ガラス越しにでも、毎月のように欠かさずなさってくださいました。門間陽子先生に、思い出を記して下さるようお願いしました。門間先生、ありがとうございます。

元宮城学院音楽教諭、日本音楽療法学会会員 門間 陽子

私のハンドベルとの出会いは、日本ハンドベル連盟の結成前、宮城学院に宣教師としていらしていたランディー先生の母教会からベルが贈られて来たことから始まります。ハンドベルというものを、まったく知らなかった私達は、東京の大井バプテスト教会でベルの研修会などが開かれているということで、早速、大井バプテスト教会を訪ね、大谷レニー先生に手ほどきを受けました。さらに、名古屋の金城学院のベル活動を知り、それこそM・I・ケリー先生や坂野延子先生にすぎりました。

こうして、たどたどしく活動をはじめましたが、日本では珍しい楽器だったので、仙台での宮城学院の演奏会には、地元のメディアなども多く駆けつけたものです。

それから暫くして、東京の青山学院初等部で、ハンドベル連盟設立（1976年）の知らせが届きました。ただ、宮城学院からは、私ではなく、上司の石川（工藤）洋子先生が出席されました。工藤先生は、帰って来るなり、連盟の結成を報告し、特に、事務局がしっかりと出来上がっていて、特に、副事務局長に女性の申善珠さんが選ばれ、すごいやり手のようで、これからの連盟の働きに期待が持てると言われました。

私は、第二回の夏期講習会（1978年）に参加しましたが、ここで、はじめて申さんと出会ったのです。忙しく立ち回っておられました。私にも親しく声をかけられ、会期中、なにかと、私にまで気を配ってくださったのです。驚いたことは、人手が足りないらしく、申さんの子ど

も達が手伝っていたことです。高校生だったアーサーと呼ばれる長男は、金城学院の大学生たちに交じってアシスタントとして立ち働いていました。中学生の次男、ジュンちゃんと長女のアキちゃんは中学生だったか、雑用を命じられていました。冗談ばかり言っているジュン、母親の動きにちょっとニヒルな視線を送っているアキ、そのときは、こんなに長く申さん一家とのお付き合いになるとは想像していませんでした。

日本ハンドベル連盟の父と呼ばれ、顧問をなさっていた金城学院のケリー先生には、前述のように、私は連盟ができる前からご指導を受けていました。その先生が、1980年8月、野尻湖に避暑に行かれているときに、心臓の不調で急逝なされたのです。私だけでなく、連盟の主だった人々は、皆ショックを受けました。連盟が急速に成長を始めたときだけに、ケリー先生を喪うことは、大げさな表現かも知れませんが、エジプトを出て、約束の地のカナンに入る前に指導者モーセを失ったイスラエル人のような気がしました。私は、宮城学院の中高の朝の礼拝で、生徒達に、この思いを語った記憶があります。

それに、申さんが受けた打撃は大きかったようで、それまでの申さんとはまるで違った姿でした。がっくりしたというか、どうしようと狼狽しているというようにも見えました。しかし、すぐ立ち直って、副理事長をされていた青山学院の伊藤郎先生と、金城学院の坂野延子先生と力を合わせて、連盟の人々への指導協力を進めて行きました。

連盟は、夏期講習会、全国フェスティバルのほかに、指導者養成の講習会、教会などメンバーの少ないグループのための小編成講習会など、会員のニーズに合わせて、様々な活動が行われ、私もしばしば東京に行く機会が増えました。申さんは、宿の世話をしてくれたり、食事に連れていってくれたり、ベル以外の生活でも、申さんと行動を共にすることが多くなりました。海外からも、こうした講習会に講師として来る人も増えました。この人々は背も高く、格好よく指揮指導されました。申さんは背が高く、すらっとしていて、それに、夏の講習会などには、帽子を頭に掛けて白いパンツをつけ、外国人さん達に負けない目立ち方でした。

私は、1986年に宮城学院を退職し、音楽療法の学びをするために東京に出てきました。特に、心身の障がいを負った人々に、音楽をもって活力をつけてもらうためにという意図もありました。申さんには、学校という職場を離れてまで大丈夫かと心配をかけました。そのため、青山学院高等部、中等部のハンドベルのコーチとしての仕事を紹介してもらいました。この青山学院の教育方針に、「神の前に真実に生き、愛と奉仕の精神をもって人と社会に仕える」「人と人との関係を造るのが教育の場である」というような言葉があるのを知って、申さんの私達との接し方、仕事のやりかたの原点に、このような考えがしっかりあったのではないかと感じたものです。私の音楽療法の現場は、盲学校や知的障がい者の授産所などですが、申さんの言葉、指示などを思い浮かべながら人々と接しています。

1984年に、第1回の世界大会がアメリカで開催され、第2回が日本、以来、2年置きに世界各地で開催され、2016年には第17回がカナダでした。1990年にハンドベル連盟が結成されて、世界的なつながりができましたが、この国際関係で日本がイニシアティブを取ったのも、申さんのリーダーシップでした。2014年には、申さんに国際委員会から、功労賞が与えられました。世界大会には日本のリンガーたちを率いて、しかし、ひとりひとりに目を配って、困ることがないように、病気をしないようにと、細かく気を使っていました。私も何度か世界大会に参加し、多くの外国の友人を得たものでした。世界大会での異国の友との再会では、大きな喜びの渦ができました。それに、世界大会のときは、N旅行社を毎回、飛行機の手配から、荷物の運搬、現地での移動などすべてを頼んでいましたが、決まった担当者が、申さんの面倒な要求にもしっかり対応していました。その担当者も、申さんのおかげで世界にかかわる仕事が拡がり、団体客のニーズがつかめるようになったと喜んでいました。ほんとうに申さんは不思議な人ですね。

この多忙の中にも、もう成人した子ども達のことにも気を配り、私にも、ひとりひとりの動静を話してくれました。申さんの健康が悪くなり、施設に入ってから、ハンドベルの会社を長男のアーサーが継ぎ、連盟の手伝いも必要に応じ行っているようです。

申さんの引退の後、下田和男理事長の下で、連盟は新しい形をとり、コロナ禍のこの時代の講習会、フェスティバルなど集まりの困難なこともあっても、しっかり運営されていっていることを、病中の申さんも感謝しておりました。

最後に、私が岐阜県音楽療法研究所に在籍中、2008年、申さんから電話がかかってきて、伊藤朗理事長が退任されることになった、2010年に世界大会を日本が主催し、大阪の国際会議場を押さえている、この大会を、日本の国中に知ってもらうためには、社会的に著名な人を理事長になってもらいたい、については、音楽療法学会の名誉理事長であり、聖ルカ国際病院の名誉院長である日野原重明氏に連絡が取れないかという内容でした。

私に自信はなかったのですが、音楽療法研究所のものとしてお願いの手紙を出したところ、やがて、秘書の方から連絡があり、日本ハンドベル連盟の理事長を引き受けてくださるということでした。このことを申さんに伝え、あとは下田和男先生と申さんが日野原先生を訪ね、これが実現したのでした。

まだまだ、書き足りないことばかりですが、申さんと40数年いっしょに連盟につかえてきた森優先生が、いま87歳、体調が振るわないということで、私に書くことを求められました。申さんのすばらしい人柄をもっとよく描けたらよかったです。とりあえず、ここで筆を置きます。申さんの人生の最後のときのことを、しっかり書くことができればよかったです。ご存知のようにコロナウイルス騒ぎの中で、老人施設は特に厳重に入居者と外からの訪問者との接触を拒んでいたもので、申さんとの会話もまとまった形で述べるできません。申し訳ありません。



左から伊藤元理事長、申さん、森優



前列左：下田理事長、中央：日野原前理事長、中央右：申さん

一般社団法人日本ハンドベル連盟 2022年度 総会議事録

日 時：2022年5月15日（日） 16時～17時

場 所：オンライン

出席者数：19名（支部長6名、評議員4名、理事7名、事務局2名）

審議事項：

- 第1号議案 2021年度事業報告および収支決算
- 第2号議案 2022年度事業計画および2022年度予算案
- 第3号議案 理事および監事の改選

下田和男理事長より、議決権のある社員総数20名のうち19名の出席により、定款第20条に則り本総会は成立することが報告された。

また議長および書記の選出についても提案がなされた。議長として下田和男理事長、書記として武者智子事務局長がそれぞれ推薦され、承認された。

第1号議案 2021年度事業報告および収支決算の件

議長により、別紙によって2021年度事業報告がなされた。また2021年度収支決算は森道興財務担当理事より別紙にて報告され、各項目について読み上げられた後、武者智子事務局長より口頭にて補足説明がなされた。

会計は4月28日に監事により監査が行われ、適正であったこともあわせて報告された。

質疑応答では、費目の明細や会員減少への対策について等、説明された。

2021年度の事業報告および収支決算については、出席者全員の賛成をもって承認された。

第2号議案 2022年度事業計画および予算案承認の件

議長より、2022年度事業計画が別紙によって説明された。また2022年度の予算案は森道興財務担当理事より別紙にて説明され、各項目について読み上げられた後、武者智子事務局長より口頭にて補足説明がなされた。

質疑応答では、赤字の解消予測や前年度繰越金等について説明された。

2022年度の事業計画および予算案については、出席者全員の賛成をもって承認された。

第3号議案 理事および監事改選の件

議長より、理事7名および監事2名全員が任期満了に伴い退任することから、別紙資料により改選の必要性について説明がなされた。

改選に関しては下田和男理事長に一任され、これが承認されたため、3月末での退任を

表明した森優監事を除いた理事7名および監事1名の再任、および新任の監事について次のとおり提案され、全員一致の決議により承認された。

監事 大塚 安宏

議事が終了したので、下田和男議長が閉会宣言をし、閉会した。

一般社団法人日本ハンドベル連盟
2023年度役員・総会構成員 一覧

理事長	下田 和男	北海道支部長	藤田 晃 (新任)
副理事長	鈴木 幸子	東北支部長	松村万里子 (新任)
理事	荒井 弘高	中部支部長	杉山 仁美
理事	小澤 淳一	関西支部長	三宅 理磨
理事	鷹巣 誠一	中国四国支部長	寺西 卓
理事	森 道興	九州支部長	伊藤 和子
理事	吉田 年一	評議員	芦田 京子
監事	市川 麻友	評議員	太田 桃子
監事	大塚 安宏	評議員	加藤 尚美
事務局長	武者 智子	評議員	高木 伸子
		評議員	角田 輝美

一般社団法人日本ハンドベル連盟 2023年度 総会議事録

日 時：2023年5月14日（日） 18時～19時

場 所：オンライン

出席者数：21名（支部長5名、評議員5名、理事7名、監事2名、事務局2名）

審議事項：

- 第1号議案 2022年度事業報告
- 第2号議案 2022年度収支決算報告
- 第3号議案 2022年度会計監査報告
- 第4号議案 2023年度事業計画案
- 第5号議案 2023年度予算案

武者智子事務局長より、議決権のある社員総数20名のうち19名の出席により、定款20条に則り本総会は成立することが報告された。

議長の選出は理事会に一任され、下田和男理事長の指名により鈴木幸子副理事長が推薦され、承認された。また議長により書記として事務局が推薦され、承認された。

鈴木幸子議長は開会を宣言し、議事に入った。

- 第1号議案 2022年度事業報告
- 第2号議案 2022年度収支決算報告
- 第3号議案 2022年度会計監査報告

下田和男理事長により、別紙にて2022年度事業報告がなされた。また2022年度収支決算は森道興財務担当理事より別紙にて報告され、各項目について読み上げられた。大塚安宏監事により、4月28日に監査が行われ適正であったことも報告された。第1号議案、第2号議案、第3号議案は、出席者全員の賛成をもって承認された。

- 第4号議案 2023年度事業計画案
- 第5号議案 2023年度予算案

下田和男理事長により、2023年度事業計画が別紙にて説明された。また2023年度の予算案は森道興財務担当理事より別紙にて説明され、各項目について読み上げられた。第4号議案、第5号議案は、出席者全員の賛成をもって承認された。

議事が終了したので、鈴木幸子議長が閉会宣言をし、閉会した。

一般社団法人日本ハンドベル連盟

2023年度イベントカレンダー

〈本部主催〉

☆2023年

- 6月3～4日（土～日）第41回指導者講習会 東京国際フォーラム（東京都）
- 8月18～20日（金～日）第44回夏期講習会 アクトシティ浜松（静岡県）
- 11月19日（日） 第47回全国フェスティバル／第2回全国ユースフェスティバル
青山学院講堂（東京都）

☆2024年

- 3月 第33回小編成講習会 未定

#

〈地区フェスティバル〉

☆2023年

- 4月29日（土） 第41回関東フェスティバル 小山市立文化センター（小山市）
- 6月17日（土） 第29回中部フェスティバル
金城学院大学アニー・ランドルフ記念講堂（名古屋市）
- 7月2日（日） 第38回東北フェスティバル 山形テルサホール（山形市）
- 7月15日（土） 第11回中国四国フェスティバル
日本バプテスト広島キリスト教会（広島市）
- 9月16日（土） 第27回九州フェスティバル 長崎ブリックホール（長崎市）
- 9月23日（土） 第36回関西フェスティバル 松蔭中学校高等学校ホール（神戸市）
- 11月11日（土） 第37回北海道フェスティバル 札幌国際大学講堂（札幌市）

一般社団法人日本ハンドベル連盟

2023年度 会員一覧 (2023年6月15日現在)

【北海道】

札幌国際大学ハンドベルクワイア
北星学園大学・北星学園大学短期大学部
スミス・ミッションセンターハンドベル・クワイア
学校法人 北海道シュタイナー学園 いずみの学校
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
文化学園大学附属幼稚園
札幌キリスト福音館ハンドベルクワイヤ
エンジェルハンドベルリンガーズ
荒川 恵美子
定家 立身
堤 香苗
藤田 晃
増岡 深雪
宮口 直子

【青森県】

八戸学院大学短期大学部
弘前学院大学ハンドベル・クワイア

【岩手県】

北上ベルハーモニー
佐藤 直子
菅原 幸子
千葉 貢子

【宮城県】

尚綱学院大学 ハンドベルクワイヤ
聖和学園短期大学ハンドベルクワイア
宮城学院中高ハンドベルクワイア
宮城学院女子大学ハンドベルクワイア
フールベルリンガー
Ring of Dreams
齊藤 きえ子
松村 万里子

【秋田県】

聖霊女子短期大学付属高等学校ハンドベル部
鈴木 千佳子

【山形県】

山形学院高等学校 ハンドベル部

山形第一聖書バプテスト教会

山形ベルの会

鈴木 壽子

山本 信子

【福島県】

会津北嶺高等学校ハンドベル部
聖光学院高等学校ハンドベルクワイア
ベル・ローザ
郡司 恵美子

【茨城県】

茨城キリスト教学園高等学校ハンドベル部
茨城県立取手第一高等学校
梅津 直子
松本 友香子

【栃木県】

小山工業高等専門学校ハンドベル部
白鷗大学ハンドベルクワイア
アルファ・リリー
小山市ハンドベルの輪
シーガルリンガーズ
能満寺ハンドベルエコーベルフラワーズ
Bell★Stars
ベル・スマイル
ベル♪フレンズ
荒井 弘高
鈴木 久美子
広田 稔

【群馬県】

共愛学園中学校ハンドベルクワイア
新島学園中学校聖歌隊
新島学園高等学校聖歌隊
唐沢 乃理子

【埼玉県】

青山学院大学系属 浦和ルーテル学院小・中・高等学校
開智中学高等学校 音楽部
聖学院大学ハンドベル・クワイア
西武文理大学

聖望学園 ハンドベルクワイア

本庄東高等学校 吹奏楽部

鳩ヶ谷福音自由教会CSハンドベルクワイア

社会福祉法人 愛の泉

童謡のふる里おとねハンドベルリンガーズ

ハンドベルクワイア「ぶどうの木」

めだかふあみりいハンドベルクラブ

川合 順子

川村 かつ緒

篠原 民子

土屋 宗宏

本田 晃

渡邊 公実子

【千葉県】

清和大学短期大学部 ハンドベルクラブ
すずの木ハンドベル・クワイア
ハンドベルクワイアLargo
石川 明子
篠 常明
鈴木 幸子
本屋 由美子
元吉 徳子

【東京都】

ICUハンドベルクラブBell Peppers
青山学院初等部
青山学院中等部
青山学院高等部ハンドベル部
青山学院大学 ハンドベル・クワイア
桜美林中学校・高等学校 ハンドベル部
恵泉女学園中学校ハンドベルクワイア
恵泉女学園高等学校課外ハンドベルSpringers
恵泉女学園大学ハンドベルクワイア
啓明学園中学校高等学校 聖歌隊
頌栄女子学院中学校
頌栄女子学院高等学校
女子聖学院中学校高等学校ハンドベルクワイア
聖学院小学校ハンドベルクラブ
玉川聖学院 ハンドベル部
東洋英和女学院中高部ハンドベル部

日本聾話学校
明治学院中学校ハンドベルクワイア
明治学院グリーンハンドベルクワイア
立教女学院中学校ベルクワイヤー
立教女学院高等学校ベルクワイヤー
立教学院諸聖徒礼拝堂ハンドベルクワイア
ラウス・アンジェリカ(ルーテル学院大学)
井草ハンドベルクワイア
キリスト教朝顔教会 音楽委員会
日本ホーリネス教団 池の上キリスト教会
SDA東京中央教会
キリスト品川教会ハンドベルクワイア
久遠キリスト教会
国際基督教大学教会ハンドベルクワイヤ
ジョイフルリンガーズ
小松川教会
日本基督教団 田園調布教会ハンドベルクワイア
日本福音ルーテル東京教会
東京聖書学院教会
聖ヶ丘教会ハンドベルクワイア
アイリス クワイア
あかね
ALPHA
ENSEMBLE CARILLON
アンダンテ
小田部ハンドベル教室
楓リンガーズ
Kissポート赤坂ベルクワイア
Kissポート・エンジェルズ・ハーモニー
Kissポート スイートベルズ
Crystal
クリノン・ハンドベル・クワイア
グレイス・ハンドベル・クワイア
小金井ハンドベルリンガーズ レ・ベル・ママン
Spring Sprite
聖学院小学校Gクレフ
ティンカーベル・リンガーズ
東洋英和女学院中部高等部母の会ガーネットリンガーズ
ナチュラル
西東京ハンドベルの会
ノイ
Handbell Ensemble YD
ハンドベルサークル・メイリリイ
ハンドベルSweet
ベル・プリーモ
Belle L'allure

リリアーレ
綾部 律子
五十嵐 しのぶ
伊藤 香子
今田 政成
印田 恵理
太田 桃子
大野 亮子
小澤 淳一
河野 さとみ
小柳 友枝
佐藤 升巳
下田 和男
申 アーサー
須賀 ちか子
高木 伸子
竹田 典子
土屋 多紀
徳善 義昌
中尾 幹
長屋 真由美
配野 純子
林谷 昭子
藤野 みどり
細川 朋子
松澤 令子
松村 麻美
武者 智子
村上 由見子
森岡 昌子
守重 達哉
渡邊 貞介

【神奈川県】

青山学院横浜英和中学高等学校ハンドベル部
アレセイア湘南中学高等学校ハンドベル部
和泉短期大学
関東学院中学校ハンドベルクワイア
関東学院ハンドベルクワイア
北里大学北里会文化会ハンドベルクワイヤ
聖ステパノ学園 ハンドベルクワイア
聖セシリア女子中学・高等学校ハンドベルクワイア
学校法人捜真学院
(捜真小学校聖歌隊 捜真女学校聖歌隊)
フェリス学院中学校・高等学校 ハンドベルクワイア
横須賀学院小学校

横須賀学院中学校高等学校
横浜共立学園
日本基督教団 鎌倉教会 ハンドベル・クワイア
相模原教会ハンドベルクワイア
洋光台キリスト教会
Erba
オリーブハンドベルクワイア
クローバーベルフレンズ
cherry's
ノルテ・ベルズ
響 -HIBIKI-
フェアリーベルリンガーズ
Bell Flower
メーテルリング
横浜YMCA Port Friends
Ring Ring Ringers
市川 麻友
江頭 せつ子
大塚 安宏
岡田 直美
片岡 久美子
片岡 哲
加藤 尚美
菊地 みどり
木村 秋美
香村 俊子
小林 わか枝
齋藤 恭子
佐藤 昭
白井 ひろみ
鷹巣 誠一
土屋 はるみ
都筑 洋子
豊田 由美子
永嶺 純子
能登 多佳子
森 道興
柳沢 昌美
山崎 聖子
山名 静子
吉川 純恵

【新潟県】

新潟清心女子中学・高等学校 ハンドベル部

【石川県】

北陸学院小学校ハンドベルクラブ
 北陸学院中学校ハンドベルクラブ
 北陸学院高等学校ハンドベルクワイア
 北陸学院大学ハンドベルクラブ

【山梨県】

甲府キリスト福音教会 ハンドベルクワイア
 梅木 仁司

【長野県】

清泉ハンドベル・クワイア
 伊藤 香寿美
 小島 かづゑ
 田村 亮子

【岐阜県】

済美高等学校ハンドベルクワイア
 中部学院大学・中部学院大学短期大学部
 美濃加茂ハンドベルクワイアマザーズ
 岡田 泰子
 角田 輝美

【静岡県】

聖隷クリストファー大学ハンドベルリンガーズ
 大沼 久美子
 大野 由貴子
 河西 由美子
 小林 由美
 早乙女 道彦
 田子 真理
 土屋 厚子

【愛知県】

金城学院中学校ハンドベルクワイア
 金城学院高等学校ハンドベルクワイア
 金城学院大学ハンドベルクワイア
 大治幼稚園
 金城学院幼稚園 ハンドベルクワイア
 師勝はなの樹幼稚園ハンドベルクワイア
 エルピスハンドベルクワイア
 名古屋バプテスト教会ハンドベルクワイア
 An Bells
 金城学院みどり野ハンドベルクワイア
 ケリーベルクワイア
 こじまハーモニー
 Twinkle Bells

Handbell Company一音
 ひかりの子ハンドベルクワイア
 フィリアベルクワイア
 PRIME
 Bell SmiRing
 メリットベルリンガーズ
 リリオンベルズ
 青山 えみよ
 安藤 節子
 井上 直子
 岡田 裕美
 鎌井 泰
 杉山 仁美
 多田羅 智穂子
 橋本 有里
 吉田 年一

【三重県】

桜丘中学校・高等学校ハンドベル部
 セントヨゼフ女子学園 ハンドベル部
 日本キリスト教団 山田教会ハンドベルクワイア

【滋賀県】

I mughetti

【京都府】

京都聖母学院ハンドベルクワイア
 St. Agnes' Handbell Choir
 同志社中学校
 同志社女子中学校高等学校 ハンドベルクラブ
 同志社大学ハンドベル・クワイア
 山崎幼稚園 ハンドベルクワイヤー
 丹後 美紀子

【大阪府】

アサンプション国際中・高ハンドベル
 大阪女学院中学校高等学校ハンドベル部
 大阪信愛学院中高ハンドベル部
 香里スヴェール学院 中学校・高等学校
 梅花中高ハンドベルクワイヤー
 平安女学院大学 ハンドベル部
 大阪城北教会ハンドベルクワイヤー
 日本基督教団豊中教会
 池田ハンドベルリンガーズ
 御殿山キラ星ハンドベルクワイア
 Sonority
 HAPPY BELLS

ハンドベル倶楽部 かりん(花鈴)
 ハール会ハンドベルサークル
 Bell Sinfonia
 ミモザ
 谷邊 美千子
 千守 敦子
 土井 典子
 中山 真澄
 三宅 理磨
 森 朋子
 渡邊 美紀

【兵庫県】

関西学院ハンドベルクワイア
 賢明女子学院中学・高等学校ハンドベルクワイヤー
 松蔭女子学院ベルクワイアー
 頌栄短期大学ハンドベルクワイヤー
 須磨学園高等学校 ハンドベル部
 百合学院中学・高等学校
 クライストコミュニティ 武庫之荘チャペル
 甲南教会クワイヤーチャイムアンサンブル
 夙川聖書教会
 Venus Mum Ringers
 グローリーリンガーズ
 神戸YMCAベルクワイアー
 向陽ハンドベルクワイヤ
 奏・Clair
 大和ベルリンガーズ かのん
 Ding Dong Ringers
 ベル・グローリー
 ベルリンガーズ沙羅
 Ringing Angels
 阿部 望
 喜多 牧子
 高下 光代
 富田 由紀子
 山内 雅博

【奈良県】
 王寺ジュニアハンドベル パンピーナ
 王寺ハンドベルチーム ピアチェーレ
 王寺ハンドベルチーム ベル・ソアーベ
 王寺ハンドベルチーム ベルノワ
 芦田 京子
 吉田 和代

【和歌山県】

ベルリンガーズもみの木
谷本 智子

【鳥取県】

安住 早苗
奥田 玲子
木村 啓子

【岡山県】

南輝聖約キリスト教会
大塚 静江
中島 あずさ
本田 七瀬
武藤 美鶴

【広島県】

川崎 百合枝
寺西 卓

【徳島県】

児嶋 輝美

【愛媛県】

プレーメンリンガーズ

【高知県】

清和女子中高等学校
高知一粒の麦キリスト教会

【福岡県】

折尾愛真短期大学ハンドベルクワイア
折尾愛真ハンドベルクワイア
西南学院大学ハンドベルクワイア
西南女学院大学・短期大学部ハンドベルクワイヤー
福岡女学院中学校高等学校ハンドベルクワイア
福岡女学院大学ハンドベル部
福岡雙葉中学校・高等学校ハンドベル部
明光学園クワイアチャイム部
クワイアチャイム RIN
Trinity Bell Choir
フローラル・ベルクワイア
ベルみゅうず
伊藤 和子
小田 ひかり
中園 彩香
中山 敦

【佐賀県】

佐賀みやきハンドベル
室見ハーモニーベルクワイア
泉 喜保美

【長崎県】

活水中学・高等学校
長崎玉成高等学校ハンドベル部
あじさい
児童養護施設 奥浦慈恵院
Octavo
カドウ・ドウ・ランジュ
Sentite
リパティールベルズ
福田 恵子

【熊本県】

ルーテル学院中学・高等学校ハンドベル部
「Sonus Angelicus」
Ange brise
別府溝部学園短期大学

【大分県】

日本キリスト教団 大分教会
都城聖ドミニコ学園高等学校 ハンドベル部

【宮崎県】

津野田 千恵

【海外】

津金 郁美

**2023年度 入退会一覧
(2023年 6月15日現在)****入会**

アンサンブルチェレスタ
ハンドベルクワイア 響
鈴木 章代
高橋 良子
田中 美知子
田中 路
外山 愛
平田 生
山崎 佳代

休会

聖霊女子短期大学 ユーフォニア
荻窪栄光教会ハンドベルサークル クララベル
Green Meadowハンドベルリンガーズ
しまのねリンガーズ
Twinkle
ベルリンガーズLene
小澤 啓子
高木 恵美

退会

小金井桜町チェリーベル
城山ハンドベルクラブ
Dancing Bells
ハンドベルアンサンブルLINK
The Bluebells
プレアデス
北島 三央
飯田 まゆみ
佐々木 信生
鈴木 宏和
乗松 良美
山口 美代子
山崎 和子
吉田 文

★日本ハンドベル連盟の活動★

〈歴史と組織〉

ハンドベルは450年以上の歴史をもつ楽器であるが、日本に導入されたのは遅く、第2次世界大戦後、宣教師の紹介によるものである。日本ハンドベル連盟は、池宮英才・M. I. ケリー・伊藤朗・坂野延子(いずれも故人)・森優・申善珠などが中心になって参加し、1976年に創立された。奉仕と普及を活動方針とした組織として、今日に至っている。アメリカ、イギリスに次いで、世界で第3番目に創立されたハンドベル連盟として、活発に活動している。2012年2月に任意団体から特定非営利活動(NPO)法人へ、2020年12月には一般社団法人として新たに登記し、活動を続けている。

加盟しているハンドベル演奏チーム(クワイア)は、1976年の設立当時にはわずか7グループであったが、2023年現在、約400グループを数える。

連盟は理事会組織で運営され、初代理事長は元東京女子大学教授の故池宮英才氏、第2代理事長は元青山学院初等部長の故伊藤朗氏、第3代理事長は元聖路加国際病院理事長の故日野原重明氏、第4代(現)理事長は元和泉短期大学教授の下田和男氏である。北海道、東北、関東、中部、関西、中国四国、九州で地区活動もなされており、理事やスタッフの活動はすべてボランティアで行われている。

〈年間の主な事業〉

ハンドベル音楽普及のために、毎年8月に夏期講習会を行っている。演奏技術の向上のための講習会や、新しい曲の紹介などを行い、連盟の最大の活動の一つとなっている。また5月ないし6月には2日間の指導者講習会を実施し、小編成講習会を3月に実施している。

全国フェスティバルに加え、各地区のフェスティバルも開催されており、参加団体が互いの演奏を聴き、交流を深めている。また、このような催しを通して、演奏楽器としてのみならず、優れた教育楽器として情操教育面における活用も研究され、実践されてきた。

〈福祉活動〉

連盟の福祉活動として、会員より募っている「ベル基金」が挙げられる。これまでに多くの善意が寄せられており、基金は、施設(障がい者施設等)、学校(特別支援学校等)などにハンドベルを寄贈するために用いられている。(46年間で42カ所、海外を含む)。また、訪問演奏をはじめとし、チャリティや、TVなどの依頼演奏へ出演した謝礼の一部が、ベル基金として寄せられている。

また講師派遣等を通して、施設での導入やリハビリテーションへの使用など、ハンドベル音楽をより多くの人々に楽しんでもらえるよう、活動を続けている。

〈国際交流〉

世界には8カ国・地域(アメリカ・イギリス・日本・カナダ・韓国・オーストラリア・香港・シンガポール)に連盟があり、国際交流が活発に行なわれている。また、連盟組織はまだないが、中国などにもハンドベルクワイアがあり、世界大会など、国際的交流に参加している。

1984年以来、2年に1回世界大会が開催され、日本は第2回および第8回、第14回の世界大会を主催した。1998年の第8回世界大会では、三笠宮様ご夫妻のご臨席を仰ぎ、千葉の幕張メッセで盛大なベルの祭典がくりひろげられ、また第14回は2010年8月、大阪市の大阪国際会議場で、世界12カ国から1200名に及ぶリンガー(演奏者)および指導者が集まり開催された。世界大会は各連盟が持ち回りで主催し、2022年から4巡目に入った。2024年には浜松での開催が予定されている。

〈講師認定制度〉

ハンドベル指導者を養成し、その質を向上させることにより、ハンドベルのさらなる普及と発展を図ることを主な目的として、講師認定を実施している。2級、および1級が設けられ、2007年度より年1回の認定を行っている。

〈連盟加入〉

団体会員と個人会員がある。会員は会報の無料配布を受け、連盟主催のフェスティバルへの参加資格が与えられ、講習会参加費の割引、演奏会への後援、講師の紹介、楽譜の出版協力など特典がある。

ハンドベル寄贈及び購入資金一部援助リスト

(1976年～2022年)

筑波大学付属盲学校	[東京都文京区]
千葉県立盲学校	[千葉県四街道市]
北海道リハビリテーションセンター言語療法室	[北海道白老郡]
静内ペテカリの園 (知的障がい者施設)	[北海道日高郡]
日本聾話学校	[東京都町田市]
横浜訓盲院 (視覚障がい者施設)	[神奈川県横浜市]
熊本小羊会 (身障者の集い)	[熊本県熊本市]
野菊寮 (知的障がい者施設)	[静岡県御殿場市]
韓国エバタ聾話学院	[大韓民国]
ブラジル老人ホーム (日系人)	[ブラジル]
	(第2回世界大会より寄贈)
韓国聖母慈愛園 (孤児院)	[大韓民国]
中国大連市 (少年宮)	[中華人民共和国]
山形市若宮病院 (精神科) (精神病・認知症の音楽療法の為)	[山形県山形市]
滝野川学園 (知的発達遅滞児施設)	[東京都国立市]
バット博士記念ホーム (バット博士記念ホーム養育家庭センター)	[東京都町田市]
愛の聖母園 (養護施設)	[鹿児島県鹿児島市]
AJU自立の家 (身体障がい者施設)	[愛知県名古屋市]
富士聖ヨハネ学園 (知的障がい者施設)	[山梨県南都留郡]
天使園 (仙台) (養護施設)	[宮城県仙台市]
星光園 (知的障がい者施設)	[熊本県天草市]
韓国カトリック社会福祉協会 (韓国カトリック身体障がい者施設の本部)	[大韓民国]
桜風園 (知的障がい者施設)	[北海道日高郡]
韓国 愛徳の家 (知的障がい者施設)	[大韓民国]
聖母愛児園 (養護施設)	[神奈川県横浜市]
森山病院 (言語療法室)	[北海道旭川市]
明星園 (養護施設)	[長崎県長崎市]
東京都立青鳥養護学校 (知的障がい養護学校)	[東京都世田谷区]
愛泉館 (老人保健施設)	[愛知県日進市]
瀬棚フォルクホイスコーレ	[北海道瀬棚郡]
修光学園 (心身障がい者支援施設)	[京都府京都市]
関西こども文化協会	[大阪府大阪市]
和楽園 (特別養護老人ホーム)	[千葉県我孫子市]
	(第8回世界大会より寄贈)
韓国カトリック社会福祉協会	[大韓民国]
サハサースクサ・スクール	[タイ]
ブラジル聖公会 西伝道区 告知教会	[ブラジル]
チャイルド・フアンド・ジャパン	[フィリピン]
東京都立南大沢学園養護学校	[東京都八王子市]
ワークステーション湯田・沢内	[岩手県和賀郡]
北京市知春里中学校	[中華人民共和国]
ザ・シスターズ・オブ・マリー ガールズタウン	[フィリピン]
石巻市河北文化協会	[宮城県石巻市]
ザ・シスターズ・オブ・マリー ボーイズタウン	[フィリピン]

日本ハンドベル連盟のあゆみ

1976年 11月20日	連盟創立	初代理事長	池宮 英才 (元東京女子大学教授)
1983年 1月15日		第2代理事長	伊藤 朗 (元青山学院初等部長)
2007年 11月4日		第3代理事長	日野原 重明 (元聖路加国際病院理事長)
2012年 2月14日	特定非営利活動 (NPO) 法人設立		
2018年 2月25日		第4代理事長	下田 和男 (元和泉短期大学教授)
2020年 12月1日	一般社団法人設立		

【全国フェスティバル】

第1回	1976年11月	青山学院講堂 (東京都)
第2回	1978年6月	青山学院講堂 (東京都)
第3回	1979年12月	聖心インターナショナルスクール (東京都)
第4回	1980年11月	青山学院講堂 (東京都)
第5回	1981年11月	聖心インターナショナルスクール (東京都)
第6回	1982年11月	東京カテドラル・マリア大聖堂 (東京都)
第7回	1983年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第8回	1984年11月	南山学園講堂 (愛知県名古屋市)
第9回	1985年11月	青山学院講堂 (東京都)
第10回	1986年11月	山梨県立県民文化ホール (山梨県甲府市)
第11回	1987年11月	青山学院講堂 (東京都)
第12回	1988年11月	福島市音楽堂 (福島県福島市)
第13回	1989年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第14回	1990年11月	西山記念会館 (兵庫県神戸市)
第15回	1991年11月	聖徳大学川並記念講堂 (千葉県松戸市)
第16回	1992年11月	愛知厚生年金会館 (愛知県名古屋市)
第17回	1993年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第18回	1994年11月	山梨県立県民文化ホール (山梨県甲府市)
第19回	1995年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第20回	1996年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第21回	1997年11月	福島市音楽堂 (福島県福島市)
第22回	1998年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第23回	1999年11月	神戸文化ホール (兵庫県神戸市)
第24回	2000年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第25回	2001年11月	長崎ブリック・ホール (長崎県長崎市)
第26回	2002年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第27回	2003年11月	名古屋市民会館 (愛知県名古屋市)
第28回	2004年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第29回	2005年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第30回	2006年11月	【30周年記念フェスティバル ハンドベル・アジア大会】 福岡国際会議場 (福岡県福岡市)
第31回	2007年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第32回	2008年11月	共済ホール (北海道札幌市)
第33回	2009年11月	神戸文化ホール (兵庫県神戸市)
第34回	2010年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第35回	2011年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第36回	2012年11月	日本特殊陶業市民会館 (愛知県名古屋市)
第37回～第44回	2013年～2020年11月	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)
第45回	2021年11月	青山学院講堂 (東京都)
第46回	2022年11月	青山学院講堂 (東京都)

【小編成 (少人数) 講習会】

第1回	1990年1月	霊南坂教会 (東京都)
第2回～第3回	1991年2月～1992年2月	弓町本郷教会 (東京都)
第4回	1993年3月	ルーテル東京教会 (東京都)
第5回～第8回	1994年2月～1997年3月	弓町本郷教会 (東京都)
第9回～第32回	1998年3月～2023年3月	東洋英和女学院中高部 (東京都)

【指導者講習会】

第1回～第17回	1981年6月～1997年6月	湯河原厚生年金会館（静岡県熱海市）
第18回～第23回	1998年6月～2003年6月	幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
第24回～第25回	2004年6月～2005年6月	ウエルサンピア多摩（東京都多摩市）
第26回～第30回	2006年6月～2010年6月	海外職業訓練協会（千葉県千葉市）
第31回～第34回	2011年6月～2014年6月	桜美林大学多摩アカデミーヒルズ（東京都多摩市）
第35回～第39回	2015年6月～2019年5月	幕張国際研修センター（千葉県千葉市）
第40回～第41回	2022年6月～2023年6月	東京国際フォーラム（東京都千代田区）

【夏期講習会】

第1回～第5回	1977年8月～1981年8月	日本ルーテル神学大学（東京都三鷹市）
第6回～第7回	1982年8月～1983年8月	熊の湯ホテル（長野県）
第8回	1984年8月	清里清泉寮（山梨県）
第9回	1985年8月	箱根芦ノ湖ホテル（神奈川県）
第10回～第13回	1986年8月～1989年8月	ホテル・プロイセン富士（山梨県）
第14回～第24回	1990年8月～2000年8月	富士箱根ランド（静岡県）
第25回～第28回	2001年8月～2004年8月	よみうりランド会館（東京都稲城市）
第29回～第37回	2005年8月～2013年8月	箱根高原ホテル（神奈川県）
第38回～第40回 （第41回）	2014年8月～2016年8月 2017年8月	幕張国際研修センター（千葉県千葉市） 【40周年記念フェスティバル ハンドベル・アジア大会】 仙台国際センター（宮城県仙台市）
第42回～第43回	2018年8月～2019年8月	幕張国際研修センター（千葉県千葉市）
第44回	2023年8月	アクトシティ浜松（静岡県浜松市） ※予定

【世界大会】

第1回	1984年8月	アメリカ	アルカータ市	フンボルト大学
第2回	1986年8月	日本	御殿場市	東山荘
第3回	1988年8月	イギリス	エクセター市	エクセター大学
第4回	1990年8月	韓国	仁川市	松島ビーチホテル
第5回	1992年8月	カナダ	エドモントン市	エドモントン・コンベンションセンター
第6回	1994年8月	オーストラリア	アデレード市	アデレード・コンベンションセンター
第7回	1996年8月	アメリカ	アルバカーキ市	アルバカーキ・コンベンションセンター
第8回	1998年8月	日本	千葉市	幕張メッセ
第9回	2000年8月	イギリス	バーミンガム市	バーミンガム・コンベンションセンター
第10回	2002年8月	韓国	釜山市	BEXCOコンベンションセンター
第11回	2004年8月	カナダ	トロント市	ウェスティンハーバーキャッスル・カンファレンスセンター
第12回	2006年8月	オーストラリア	ブリスベン市	ブリスベン・コンベンション・センター
第13回	2008年8月	アメリカ	オーランド市	ローゼン・シングル・クリーク・リゾート
第14回	2010年8月	日本	大阪市	大阪国際会議場
第15回	2012年8月	イギリス	リバプール市	アリーナ・アンド・コンベンション・センター・リバプール
第16回	2014年8月	韓国	済州島	チェジュ・コンベンションセンター
第17回	2016年8月	カナダ	バンクーバー市	バンクーバー・コンベンション・センター
第18回	2018年8月	オーストラリア	ケアンズ市	ケアンズ・コンベンションセンター
第19回	2020年8月	香港	九龍湾国際トレード&エキシビションセンター	【※中止】
第20回	2022年8月	アメリカ	ナッシュビル	ゲイロード・オープリーランド リゾート&コンベンションセンター
第21回	2024年8月	日本	浜松市	アクトシティ浜松 ※予定
第22回	2026年8月	イギリス	ニューカッスル	セージ国際会議場 ※予定

編集後記

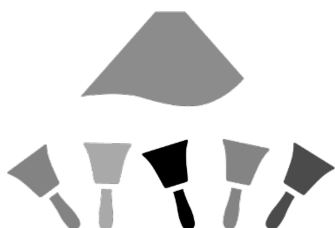
少しずつ活動が再開した2022年度を経て、今年は4年ぶりの夏期講習会をはじめ連盟事務局の業務もフル回転になってきました。特に来年2024年には14年ぶりの日本開催となる世界大会が待っています。多くの方々が関心を寄せてくださることに、少しのプレッシャーと、大きな喜びを感じつつ、手探りで準備を始めています。皆様のご参加をお待ちしています！

(NM)

2024年8月、日本で4回目となる
ハンドベル世界大会が開催されます。

今度の浜松大会では、世界中の友人たちと共に
ふたたびハンドベルの輪を広げていきたい。

不安のない世の中で、また音楽でつながれることを
私たちは信じています。



奏でる、MIRAI

Ring the Future 2024

第21回ハンドベル世界大会

〈日程〉

2024年8月12日（月）～17日（土）

〈会場〉

アクトシティ浜松（静岡県浜松市）

〈参加のスケジュール（予定）〉

2023年9月 参加ガイド発行～参加申込開始

2024年1月 第1次申込締切

2024年4月 第2次申込締切

2023年6月30日
第48号

一般社団法人
日本ハンドベル連盟

112-0013 東京都文京区音羽1-22-18 アルス音羽Ⅱ-214
電話 (03) 5395-1760 FAX (03) 5395-1739